

|   |                   |                    |              |
|---|-------------------|--------------------|--------------|
| 授業科目名   | 対象学科・専攻           | 年次                 | 期別           |
| 生徒指導と教育相談<br>Student Consulting<br>and Educational Consulting | 児童教育学科<br>初等教育学専攻 | 2年次                | 後期           |
| 講義・演習・実技・<br>実習・実験  | 単位数               | 教員免許状取得<br>必修/選択必修 | 担当教員<br>担当形態 |
| 講義  | 2                 | 必修                 | 福屋 いずみ<br>単独 |

|   |   |
|---|---|
| 科目                                      | 施行規則に定める科目区分又は事項等                                   |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び<br>生徒指導、教育相談等に関する科目 | ・生徒指導の理論及び方法<br>・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 |

#### ○コアカリキュラム：生徒指導の理論及び方法

全体目標：生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。

##### (1) 生徒指導の意義と原理

一般目標：生徒指導の意義や原理を理解する。

到達目標：1) 教育課程における生徒指導の位置付けを理解している。

2) 各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を理解している。

3) 集団指導・個別指導の方法原理を理解している。

4) 生徒指導体制と教育相談体制それぞれの基礎的な考え方や違いを理解している。

##### (2) 児童及び生徒全体への指導

一般目標：すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解する。

到達目標：1) 学級担任、教科担任その他の校務分掌上の立場や役割並びに学校の指導方針及び年間指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を理解している。

2) 基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を理解している。

3) 児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を例示することができる。

##### (3) 個別の課題を抱える個々の児童及び生徒への指導

一般目標：児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解する。

到達目標：1) 校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を理解している。

2) 暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解している。

3) インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を例示することができる。

#### ○コアカリキュラム：教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

全体目標：教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。

幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的な知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的な知識を含む）を身に付ける。

##### (1) 教育相談の意義と理論

一般目標：学校における教育相談の意義と理論を理解する。

到達目標：1) 学校における教育相談の意義と課題を理解している。

2) 教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。

##### (2) 教育相談の方法

一般目標：教育相談を進める際に必要な基礎的な知識（カウンセリングに関する基礎的な事柄を含む）を理解する。

到達目標：1) 幼児、児童及び生徒の不応答や問題行動の意味並びに幼児、児童及び生徒の発するシグナルに気づき把握する方法を理解している。

2) 学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。

3) 受容・傾聴・共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。

##### (3) 教育相談の展開

一般目標：教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。

到達目標：1) 職種や校務分掌に応じて、幼児、児童及び生徒並びに保護者に対する教育相談を行う際の目標の立て方や進め方を例示することができる。

2) いじめ、不登校・不登園、虐待、非行等の課題に対する、幼児、児童及び生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解している。

3) 教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取組みの必要性を理解している。

4) 地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解している。

| 【全体目標及び概要】  |   |              |                       |                      |                      |
|---|---|--------------|-----------------------|----------------------|----------------------|
| 生徒指導の本来の狙いである一人一人の個性の伸長、社会的スキル行動力を高めるための教育的活動であることを理解する。<br>児童の発達に即した、カウンセリング的な関わりの意義や基本的な方法を身につける。 |   |              |                       |                      |                      |
| 【一般目標及び到達目標】  |   |              | 目標対応                  |                      |                      |
|   |   |              | 生徒指導                  | 教育相談                 |                      |
| (1) 生徒指導の意義や原理を理解する。<br>1) 生徒指導の意義・重要性を理解する   |   |              | (1)-1,2               |                      |                      |
| 2) 個と集団に応じた指導の方法を理解する   |   |              | (1)-3                 |                      |                      |
| 3) 校務分掌上の生徒指導の位置づけを理解する   |   |              | (1)-4<br>(2)-2        |                      |                      |
| (2) 課題を抱える児童への指導を理解する。<br>1) 懲戒・体罰の法的基本を学ぶ  |   |              | (3)-1                 |                      |                      |
| 2) 生徒指導上の諸問題の現状と指導法を理解する  |   |              | (2)-1,2,3<br>(3)-2    |                      |                      |
| 3) インターネットなど今日的な生徒指導の現状と対応を学ぶ   |   |              | (3)-3                 |                      |                      |
| (3) 教育相談の基礎を学び個々の問題への支援方法を学ぶ。<br>1) 生徒指導上の諸問題に即し児童の支援方法を学ぶ  |   |              |                       | (1)-1,2              |                      |
| 2) 基本的なカウンセリングの理論と実践方法を学ぶ   |   |              |                       | (2)-1,2,3            |                      |
| 3) 教育相談の進め方、組織的な取組み、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどとの協働について学ぶ  |   |              |                       | (3)-1,2,3,4          |                      |
| 回数  | 生徒指導と教育相談   | 授業内容 【福屋いずみ】 | 到達目標の番号               | コアカリキュラム対応           |                      |
|   |   |              |                       | 生徒指導                 | 教育相談                 |
| 1   | 生徒指導と教育相談とは何か概要を知る  |              | (1)-1                 | (1)-1,2              |                      |
| 2   | 生徒指導の意味を理解する  |              | (1)-1、(1)-3           | (1)-1,2,4<br>(2)-2   |                      |
| 3   | 教育現場における生徒指導の実践について学ぶ   |              | (1)-1、(1)-2、<br>(1)-3 | (1)-1,2,3,4<br>(2)-2 |                      |
| 4   | 生徒指導上の諸問題を学ぶ  |              | (2)-1、(2)-2           | (2)-1,2,3<br>(3)-1,2 |                      |
| 5   | 生徒指導と教育相談の関連について理解する  |              | (2)-2、(3)-1           | (2)-1,2,3<br>(3)-2,3 |                      |
| 6   | 児童の問題行動の意味を考える（予防的な介入）  |              | (2)-1、(3)-1           | (3)-1                | (1)-1,2              |
| 7   | カウンセリングの基本を学ぶ（クライアント中心療法的介入）                                      |              | (3)-1、(3)-2           |                      | (1)-1,2<br>(2)-1,2,3 |
| 8   | カウンセリングの基本を学ぶ（精神分析的介入）  |              | (3)-1、(3)-2           |                      | (1)-1,2<br>(2)-1,2,3 |
| 9   | 不登校問題について指導と支援を理解する   |              | (2)-2、(3)-1           | (2)-1,2,3<br>(3)-2   | (1)-1,2              |
| 10  | いじめ問題について指導と支援を理解する個方法を学ぶ   |              | (2)-2、(3)-1           | (2)-1,2,3<br>(3)-2   | (1)-1,2              |
| 11  | 非行・問題行動について指導と支援を理解する   |              | (2)-1、(2)-2、<br>(3)-1 | (2)-1,2,3<br>(3)-1,2 | (1)-1,2              |
| 12  | 生徒指導の今日的な課題について考える  |              | (2)-3、(3)-3           | (3)-3                | (3)-1,2,3,4          |
| 13  | 障害のある児童への支援について学ぶ   |              | (2)-2、(3)-2           | (2)-1,2,3<br>(3)-2   | (2)-1,2,3            |
| 14  | 教育相談の実際・学校内での心理臨床的援助について学ぶ  |              | (1)-3、(3)-3           | (1)-4<br>(2)-2       | (3)-1,2,3,4          |
| 15  | SC・SSWなど他の専門家との連携について学ぶ   |              | (3)-3、                |                      | (3)-1,2,3,4          |
| 定期試験  | 実施する  |              |                       |                      |                      |
| 成績評価方法  | 授業への取り組み・講義中の発表（関心・意欲・態度・表現力）50%<br>筆記試験（知識・理解・思考力・判断力）50%        |              |                       |                      |                      |
| テキストおよび参考文献   | 『小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）』、文部科学省『生徒指導提要』<br>『生徒指導と教育相談』山口短期大学   |              |                       |                      |                      |
| メッセージなど   | 生徒指導の本来の意味を知り子どもたちが生きる力を身につけていくための教育や子どもたちの指導、支援の実践について学んでいきましょう。 |              |                       |                      |                      |

ルーブリック評価を用いた成績評価

| 到達目標                         | 優                                   | 良                                  | 可                                       | 不可                            | 評価手段                              | 評価比率 |
|------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---|-------------------------------|-----------------------------------|------|
| (1)-1) 生徒指導の意義・重要性を理解する      | 生徒指導の意義・重要性を十分に説明することができる。          | 生徒指導の意義・重要性を概ね説明することができる。          | 生徒指導の意義・重要性について最低限の説明はしている。             | 生徒指導の意義・重要性を説明することができない。      | 定期試験<br>(知識・理解)                   | 6%   |
|                              | また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。 | また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。 | また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。 | また、問題意識をもって講義に参加していない。        | 課題・グループワーク<br>(思考力・判断力・表現力・関心・意欲) | 6%   |
| (1)-2) 個と集団に応じた指導の方法を理解する    | 個と集団に応じた対応を十分に説明することができる。           | 個と集団に応じた対応を概ね説明することができる。           | 個と集団に応じた対応について最低限の説明はしている。              | 個と集団に応じた対応を説明することができない。       | 定期試験<br>(知識・理解)                   | 5%   |
|                              | また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。 | また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。 | また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。 | また、問題意識をもって講義に参加していない。        | 課題・グループワーク<br>(思考力・判断力・表現力・関心・意欲) | 5%   |
| (1)-3) 校務分掌上の生徒指導の位置づけを理解する  | 校務分掌上の生徒指導の位置づけを十分に説明することができる。      | 校務分掌上の生徒指導の位置づけを概ね説明することができる。      | 校務分掌上の生徒指導の位置づけについて最低限の説明はしている。         | 校務分掌上の生徒指導の位置づけを説明することができない。  | 定期試験<br>(知識・理解)                   | 5%   |
|                              | また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。 | また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。 | また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。 | また、問題意識をもって講義に参加していない。        | 課題・グループワーク<br>(思考力・判断力・表現力・関心・意欲) | 5%   |
| (2)-1) 懲戒・体罰の法的基本を学ぶ         | 懲戒・体罰の法的基本を十分に説明することができる。           | 懲戒・体罰の法的基本を概ね説明することができる。           | 懲戒・体罰の法的基本について最低限の説明はしている。              | 懲戒・体罰の法的基本を説明することができない。       | 定期試験<br>(知識・理解)                   | 6%   |
|                              | また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。 | また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。 | また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。 | また、問題意識をもって講義に参加していない。        | 課題・グループワーク<br>(思考力・判断力・表現力・関心・意欲) | 6%   |
| (2)-2) 生徒指導上の諸問題の現状と指導法を理解する | 生徒指導上の諸問題の現状と指導法を十分に説明することができる。     | 生徒指導上の諸問題の現状と指導法を概ね説明することができる。     | 生徒指導上の諸問題の現状と指導法について最低限の説明はしている。        | 生徒指導上の諸問題の現状と指導法を説明することができない。 | 定期試験<br>(知識・理解)                   | 5%   |

|  |  |   |   |  |                                   |    |
|--|--|---|---|--|-----------------------------------|----|
|  | また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。          | また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。          | また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。       | また、問題意識をもって講義に参加していない。                     | 課題・グループワーク<br>(思考力・判断力・表現力・関心・意欲) | 5% |
| (2)-3 インターネットなど今日的な生徒指導の現状と対応を学ぶ                           | インターネット、SNS等の今日的な生徒指導の現状と対応を十分に説明することができる。   | インターネット、SNS等の今日的な生徒指導の現状と対応を概ね説明することができる。   | インターネット、SNS等の今日的な生徒指導の現状と対応について最低限の説明はしている。   | インターネット、SNS等の今日的な生徒指導の現状と対応を説明することができない。   | 定期試験<br>(知識・理解)                   | 6% |
|  | また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。          | また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。          | また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。       | また、問題意識をもって講義に参加していない。                     | 課題・グループワーク<br>(思考力・判断力・表現力・関心・意欲) | 6% |
| (3)-1 生徒指導上の諸問題に即し児童の支援方法を学ぶ                               | 生徒指導上の諸問題に即し児童の支援方法を十分に説明することができる。           | 生徒指導上の諸問題に即し児童の支援方法を概ね説明することができる。           | 生徒指導上の諸問題に即し児童の支援方法について最低限の説明はしている。           | 生徒指導上の諸問題に即し児童の支援方法を説明することができない。           | 定期試験<br>(知識・理解)                   | 6% |
|  | また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。          | また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。          | また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。       | また、問題意識をもって講義に参加していない。                     | 課題・グループワーク<br>(思考力・判断力・表現力・関心・意欲) | 6% |
| (3)-2 基本的なカウンセリングの理論と実践方法を学ぶ                               | 基本的なカウンセリングの理論と実践方法を十分に説明することができる。           | 基本的なカウンセリングの理論と実践方法を概ね説明することができる。           | 基本的なカウンセリングの理論と実践方法について最低限の説明はしている。           | 基本的なカウンセリングの理論と実践方法を説明することができない。           | 定期試験<br>(知識・理解)                   | 6% |
|  | また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。          | また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。          | また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。       | また、問題意識をもって講義に参加していない。                     | 課題・グループワーク<br>(思考力・判断力・表現力・関心・意欲) | 6% |
| (3)-3 教育相談の進め方、組織的な取組み、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの協働について学ぶ | 教育相談の進め方、組織的な取組み、SC・SSWなどとの協働を十分に説明することができる。 | 教育相談の進め方、組織的な取組み、SC・SSWなどとの協働を概ね説明することができる。 | 教育相談の進め方、組織的な取組み、SC・SSWなどとの協働について最低限の説明はしている。 | 教育相談の進め方、組織的な取組み、SC・SSWなどとの協働を説明することができない。 | 定期試験<br>(知識・理解)                   | 5% |
|  | また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。          | また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。          | また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。       | また、問題意識をもって講義に参加していない。                     | 課題・グループワーク<br>(思考力・判断力・表現力・関心・意欲) | 5% |